



(No.2) 羽水高等学校



	書名	著者名	出版社	価格 (税込)
【1】	ぼくはイエローでホワイトで、 ちょっとブルー	ブレイディみかこ	新潮社	1,485 円

推薦図書の説明

この本は、イギリス在住の母親による男子中学生の成長日記です。会話文中心のノンフィクションで、1章ずつ読んでも分かりやすくなっています。「誰かの靴を履いてみる」「何やかんや言っても応援」など、胸にすんと落ちる表現が魅力的な一冊です。ぜひ、皆さんの中学校生活と比べながら読んでみてください。

	書名	著者名	出版社	価格 (税込)
【2】	ドラゴン桜公式副読本 16歳の 教科書 ~なぜ学び、なにを学ぶ のか~	(編著)7人の特別講義 プロジェクト&モーニ ング編集部	講談社	858 円

推薦図書の説明

なぜ学び、なにを学ぶのか？国語や数学を勉強してなんの役に立つの？英語なんか翻訳機があればいいじゃん？そんな疑問に答えてくれます。「なぜ時間や労力をかけても英語を使えるようにならないのか」という違和感から、「気持ち」や「感覚」を大切にと
いう答えにたどり着いた大西泰人先生、数学には「見える力」と「詰める力」がある、それを伸ばすには？と語る高濱正伸先生、これまでの勉強に対する認識が変わる一冊です。

	書名	著者名	出版社	価格 (税込)
【3】	宇宙の歴史と宇宙観測	秋本祐希	技術評論社	1,738 円

推薦図書の説明

「宇宙」に対して、とにかくスケールが壮大だというイメージがあると思います。そんな宇宙について見ていくことは、不思議なことに、物質を構成する最小単位である「素粒子」を見ていくことに通じています。また、その研究のために、人類はあらゆる施設を使ってきました。本書では、宇宙と素粒子、その観測施設の面白さを、マンガを効果的に使って巧みに解説しています。

	書名	著者名	出版社	価格 (税込)
【4】	ポーツマスの旗	吉村 昭	新潮社	737 円

推薦図書の説明

ポーツマスで行われた日露戦争の講和会議の内幕を題材とした小説です。日本全権委任大使として小村寿太郎が活躍します。作者吉村昭氏は、綿密な史料取材に基づいて本を書いており、当時の情勢を知ることができます。また、「政治」は誰のため、何のためにあるのか等を考えるきっかけにもできるでしょう。少しとっつきにくい本かもしれませんが、ちょっと背伸びして、ぜひチャレンジして欲しい本です。



	書名	著者名	出版社	価格（税込）
【5】	「ハッピーな部活」の作り方	中澤篤史・内田良	岩波ジュニア新書	946 円

推薦図書の説明

今までに部活をしていた人はたくさんいると思いますが、部活が楽しくない、辛いと感じていた人はいませんか。そんな悩みのために書かれているのがこの本です。「部活の主役はあなた自身」、「生徒の、生徒による、生徒のための部活」、「先生とともに」、といったような内容が理解しやすい文章で書かれています。この本を読めばハッピーな部活の作り方がわかるかもしれません。